

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障一覧」令和6年度(4月1日～3月31日)【工場別】

有明清掃工場　＜休炉3、停止0＞

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
26	1号炉	休炉	R6.10.23	21:32	R6.10.24	0:45	R6.11.28	17:00	R6.11.29	17:12	No.2ろ過式集じん器ダスト抽出コンベヤの故障警報が発報した。現場を確認したところ、チェーンの緩みを確認した。また、インチング運転を試みたところ、異音を確認した。正常な灰搬出ができず、補修のため焼却炉を立ち下げた。
22	1号炉	休炉	R6.9.18	15:00	R6.9.19	10:00	R6.10.10	17:00	R6.10.11	15:30	1号焼却炉左側壁部のケーシングから水が垂れていることを確認した。原因調査のため焼却炉を立ち下げた。
15	1号炉	休炉	R6.8.5	17:00	R6.8.6	10:00	R6.8.13	17:00	R6.8.14	7:35	高圧蒸気だめの抽気蒸気だめ元弁フランジ部から蒸気が出ていることを確認し、補修のため1号焼却炉を立ち下げた。

千歳清掃工場　＜休炉1、停止0＞

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
23	1号炉	休炉	R6.9.16	15:14	R6.9.20	23:31	R6.9.29	23:37	R6.9.30	22:54	9月16日のスートブロフ自動運転時にNo.19が故障発報して動作不能となった。その後、9月20日にも同様にNo.21とNo.22が動作不能となったため、原因調査が必要と判断して焼却炉を立ち下げた。

墨田清掃工場　＜休炉2、停止0＞

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
30	1号炉	休炉	R6.11.27	16:16	R6.11.27	16:30	R6.12.4	13:47	R6.12.5	13:18	後燃焼ストーカA・B下ホップシュートの閉塞を確認した。正常な灰搬出に支障があり、閉塞を解除する必要があるため、焼却炉を立ち下げた。
24	1号炉	休炉	R6.9.24	1:43	R6.9.24	13:20	R6.9.27	13:52	R6.9.28	11:27	タービンバイパス蒸気変換弁(親弁)の動作不良で、蒸気タービン発電機を継続して運転することができず、蒸気タービン発電機を立ち下げた。当該機器の仮補修をするため焼却炉を立ち下げた。

新江東清掃工場　＜休炉3、停止0＞

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
29	1号炉	休炉	R6.11.9	17:51	R6.11.22	21:00	R6.11.28	15:15	R6.11.29	13:01	ろ過式集じん器No.2左側逆洗ダンパの故障が発報し、現場で動作確認をしたところ正常に閉動作しなかった。正常な排ガス処理に支障があるため、ダンパの調査及び補修が必要と判断し、1号炉を立ち下げた。
3	2号炉	休炉	R6.5.2	19:55	R6.5.2	20:30	R6.6.4	18:32	R6.6.5	14:53	給水流量とボイラ出口蒸気流量にかい離が見られ、調査のため2号炉を立ち下げた。
2	2号炉	休炉	R6.2.29	21:19	R6.4.20	21:00	R6.4.26	19:46	R6.4.27	15:21	2月29日21時19分頃2号炉二次燃焼ファン電流値上限警報が多発した。現場のファンからは異常や異音がなく、2階送風機VVVF盤室にて制御盤内を確認したところ異音がしており、出力周波数が30～50Hzでハンチングしていたため、電源をインバータ側から商用側へ切替えた。その後運転を継続していたが、インバータ等の盤内調査及び補修体制が整ったため、2号炉を立ち下げた。

港清掃工場 < 休炉1、停止1 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
38	2号炉	休炉	R7.1.24	9:50	R7.1.24	10:50	R7.3.17	15:05	R7.3.18	11:52	誘引ファンのカップリング部から異音及びオイル漏れを確認した。調査のため焼却炉を立ち下げた。
クレーン 3	1号ごみクレーン	停止	R6.6.12	16:30					R6.6.24	17:00	1号ごみクレーンワイヤロープのストランド及び素線に損傷を確認したため、ごみクレーンを停止した。

豊島清掃工場 < 休炉3、停止0 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
37	2号炉	休炉	R7.1.4	6:39	R7.1.4	14:11	R7.1.7	22:22	R7.1.8	6:09	2号炉集じん器ロータリーバルブがショックリレー動作により停止した。正逆転やインテング運転による復旧を試みたが、機器が動作しなくなり灰の排出ができなくなったため焼却炉を立ち下げた。
33	1号炉	休炉	R6.12.5	17:33	R6.12.5	17:48	R6.12.5	18:05	R6.12.5	18:39	1号ごみクレーン故障(主電源及びバケット回路漏電)が発報して2号炉側で停止した。2号ごみクレーンを使用してごみ投入することができなかったため焼却炉を立ち下げた。
12	1号炉	休炉	R6.6.30	1:20	R6.6.30	2:33	R6.6.30	12:00	R6.6.30	18:23	1号炉ごみ供給機のショックリレーが動作して機器が停止した。再運転を試みたが復旧できず、ごみ供給ができなくなったため焼却炉を立ち下げた。

渋谷清掃工場 < 休炉2、停止0 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
46	1号炉	休炉	R7.3.10	10:00	R7.3.10	12:11	R7.3.22	2:04	R7.3.22	15:16	排ガス洗浄塔入口の煙道部分に破孔を確認した。調査・補修のため、焼却炉を立ち下げた。
8	1号炉	休炉	R6.6.5	11:00	R6.6.5	14:46	R6.6.11	22:04	R6.6.12	21:08	給熱蒸気だめの保温板金下部より水が垂れているのを発見した。調査・補修のため焼却炉を立ち下げた。

中央清掃工場 < 休炉1、停止0 >

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
14	1号炉	休炉	R6.6.10	8:00	R6.7.26	17:00	R6.8.5	15:12	R6.8.6	13:06	令和6年6月10日、1号炉立上げ中に1号温風循環ヒータAの故障が発報し、盤内を確認すると、集じん機温風循環ヒータAの漏電遮断器及び電磁接触器が焼損しているのを確認した。7月26日に補修のため焼却炉を立ち下げた。

板橋清掃工場 <休炉3、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
10	1号炉	休炉	R6.6.24	16:46	R6.6.24	17:40	R6.7.10	17:06	R6.7.11	11:23	ボイラ給水流量と主蒸気流量にかい離が生じ、調査のため1号炉を立ち下げた。
7	2号炉	休炉	R6.5.20	10:40	R6.5.20	15:30	R6.5.27	15:16	R6.5.28	9:58	故障箇所付近の日常点検時に熱水漏れを発見した。原因を調査したところ、燃焼帯火格子上部の炉壁に穴が開いており流出した焼却灰や不適物が焼却炉冷却水ホースを破損させていた。運転継続できないため焼却炉を立ち下げた。
4	1号炉	休炉	R6.5.12	1:00	R6.5.12	1:59	R6.5.29	15:21	R6.5.30	10:00	故障箇所付近の日常点検時に熱水漏れを発見した。原因を調査したところ、燃焼帯火格子上部の炉壁に穴が開いており流出した焼却灰や不適物が焼却炉冷却水ホースを破損させていた。運転継続できないため焼却炉を立ち下げた。
45	1号炉	休炉	R6.3.29	18:00	R6.3.30	0:00	R6.4.16	15:18	R6.4.17	9:17	給じん装置の油漏れによりごみ送りが不安定となり、運転継続が困難となったため、焼却炉を立ち下げた。また、ボイラの水質管理値に逸脱のおそれがあり、調査が必要であった。
43	2号炉	休炉	R6.3.12	15:00	R6.3.12	16:30	R6.4.11	15:17	R6.4.12	10:52	2号焼却炉周りで水漏れが見られた為、2号焼却を立ち下げた。調査の結果、給じん装置から水漏れを確認した。

多摩川清掃工場 <休炉3、停止1>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
27	2号炉	休炉	R6.10.29	10:15	R6.10.29	10:50	R6.11.1	15:29	R6.11.2	12:11	2号脱気器圧力調節弁出口側と接続している配管側のフランジから蒸気漏れが発生していた。運転継続困難と判断したため、焼却炉を立ち下げた。
20	2号炉	休炉	R6.8.22	6:53	R6.8.28	17:00	R6.8.30	20:27	R6.8.31	14:46	2号過熱器ダスト排出機(2)の故障警報が出たため、現場確認したところ、ダンバが閉状態で固着していた。槌打等により復旧を試みたが、固着は解消されなかった。ホツバに灰が堆積して焼却炉の運転が困難となったため、2号焼却炉を立ち下げた。
クレーン 4	不適物クレーン	停止	R6.6.29	9:57					R6.7.2	18:00	灰搬出作業中に積出ホツバ手前で2ノッチから1ノッチに入れようとした際に、走行ELB断・走行インバータ故障が発生した。故障リセットを行い、再度クレーン動作を試みたが、走行ができず、そのまま停止した。
9	1号炉	休炉	R6.6.14	0:16	R6.6.14	3:42	R6.6.14	17:28	R6.6.15	12:01	減温塔出口排ガス温度上上限警報が発報した。その後、減温水流量下限警報も発報し、ストレーナ切替、ポンプ2台運転、ノズル調査を行ったが、回復の見込みが立たなかったため焼却炉を立ち下げた。

足立清掃工場 <休炉1、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
34	2号炉	休炉	R6.12.12	8:54	R6.12.12	8:54	R6.12.15	17:08	R6.12.16	10:46	12月12日8時54分にDCS上にて2号炉誘引ファンが停止状態となり、2号炉が緊急停止となった。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障一覧」令和6年度(4月1日～3月31日)【工場別】

品川清掃工場　＜休炉2、停止4＞

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
45	1号炉	休炉	R7.2.18	14:00	R7.3.8	14:00	R7.3.14	10:00	R7.3.15	16:46	蒸気式空気予熱器のスチームトラップバイパス弁バルブボンネットより蒸気漏れを確認した。経過を注視したが漏れ量が増加傾向にあり、補修を行うため焼却炉を立ち下げた。
32	2号炉	休炉	R6.12.1	20:00	R6.12.3	18:00	R6.12.6	18:32	R6.12.7	22:18	焼却炉監視用窓の窓枠上部に破孔を確認した。補修作業を行うため、焼却炉を立ち下げた。
クレーン 8	不適物クレーン	停止	R6.7.29	8:00					R6.8.5	14:00	受付業務委託にて混練飛灰の搬出を行っていた際、不適物クレーンが停止中に巻き下がってしまった。原因は現在調査中である。
クレーン 7	受入灰クレーン	停止	R6.7.29	7:30					R6.8.5	11:00	受付業務委託にて灰バンカの積替えを行っていた際、受入灰クレーンの巻上巻下操作が不可能となり、巻上制御盤故障が発報した。原因は現在調査中である。
クレーン 6	1号ごみクレーン	停止	R6.7.25	19:00					R6.8.20	15:30	運転係の日常点検にて1号ごみクレーンのワイヤロープがキンクしていることを発見した。補修が完了するまでの間は使用禁止とする。
クレーン 5	受入灰クレーン	停止	R6.7.20	16:00					R6.7.22	15:00	受付業務委託にて灰バンカの積替えを行っていた際、受入灰クレーン巻上インバータ故障が発生し、巻上操作不能となった。原因は現在調査中である。

葛飾清掃工場　＜休炉3、停止1＞

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
48	1号炉	休炉	R7.3.24	6:19	R7.3.27	11:30					第1ボイラダストコンベヤの機器異常が発生し、ボイラダストの排出が不可能となった。インテング運転等により復旧を試みたが、改善の見込みが無く、ボイラ設備への影響が懸念されるため焼却炉を立ち下げた。このまま定期補修工事に入る。
47	2号炉	休炉	R7.1.5	10:00	R7.3.21	14:00	R7.3.24	19:13	R7.3.25	11:12	2次過熱低減器給水流量計系統のフランジより漏れを確認した。経過観察としていたが、漏れ量増加の傾向があり、調査及び補修のため焼却炉を立ち下げた。
クレーン 10	No.1ごみクレーン	停止	R6.12.7	17:30					R6.12.16	14:30	17時30分に、No.1ごみクレーンバケットが転倒した。転倒を復旧する作業を行ったが、吊下げワイヤロープが断線し、No.1ごみクレーンバケットが落下したため、No.1ごみクレーンを停止した。
21	1号炉	休炉	R6.8.12	10:00	R6.9.5	10:06	R6.9.13	19:00	R6.9.14	11:54	1号誘引ファン軸受部より、振動がありオイルも減っていく状態を確認した。調査及び補修のため1号炉を立ち下げた。

世田谷清掃工場 <休炉9、停止1>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
44	1号炉	休炉	R7.3.6	10:00	R7.3.7	13:00	R7.3.19	21:37	R7.3.20	11:10	燃焼熔融炉内の炉内圧力の制御が出来ず、炉内圧力が上昇した。運転継続が困難と判断し、調査及び補修のため焼却炉を立ち下げた。
35	2号炉	休炉	R6.12.18	14:45	R6.12.19	13:30	R6.12.27	21:21	R6.12.28	10:45	ごみバンカに貯留したごみを破碎する設備であるNo.2ごみ破碎機のシュートが長尺ごみにより閉塞した。閉塞解除を試みたが直営では不可能であった。破碎ごみ量の見込みより2炉稼働継続が困難であるため、2号炉を立ち下げた。
31	1号炉	休炉	R6.11.29	8:00	R6.11.29	9:30	R6.12.17	20:30	R6.12.18	11:20	二次燃焼室下ダスト排出コンベヤ冷却水配管が異物により閉塞した。そのため、正常に機器冷却ができず、閉塞解除及び配管補修のため焼却炉を立ち下げた。
28	2号炉	休炉	R6.11.20	12:55	R6.11.20	17:35	R6.12.1	21:39	R6.12.2	11:10	ガス化炉内の流動砂を循環させる設備である砂循環エレベータの減速機が故障した。そのため、流動砂が循環できなくなった。故障した減速機を交換するため焼却炉を立ち下げた。
17	1号炉	休炉	R6.8.12	15:20	R6.8.12	18:40	R6.8.28	0:38	R6.8.28	14:10	流下口シュート部に設置されているスラグバーナがスラグ塊の付着により動作が出来なくなった。スラグバーナが使用できないと流下口が閉塞してしまうため、運転継続が困難と判断し、調査及び補修のため焼却炉を立ち下げた。
13	2号炉	休炉	R6.7.26	0:00	R6.7.26	12:00	R6.9.26	20:45	R6.9.27	12:00	燃焼熔融炉内の炉内圧力の制御が出来ず、炉内圧力が上昇した。運転継続が困難と判断し、調査及び補修のため焼却炉を立ち下げた。
11	1号炉	休炉	R6.6.29	12:18	R6.6.29	13:23	R6.7.23	21:38	R6.7.24	10:02	ガス化炉内にごみを供給する破碎ごみ解砕機が過負荷により停止した。動作を試みたが、電動機が動作せず、ごみ供給が出来なくなったため、運転継続が困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
クレーン 1	1号ごみクレーン	停止	R6.5.16	15:00					R6.5.28	14:00	月例点検にてワイヤーロープ直径の減少が7%を超えていたため、使用を停止した。
6	2号炉	休炉	R6.5.16	11:00	R6.5.16	21:56	R6.6.7	10:12	R6.6.8	0:02	砂分級装置でトルクリミッタが作動し、機器停止した。現場確認したところ、トロンメル本体を支える支持ローラの位置がずれて軸受と接触していた。砂分級が出来なくなったため、焼却継続が困難と判断し焼却炉を立ち下げた。
1	1号炉	休炉	R6.4.13	11:56	R6.4.13	15:53	R6.4.18	21:34	R6.4.19	11:03	砂分級装置でトルクリミッタが作動し、機器停止した。再度動作を試みたが、トルクリミッタが作動し、機器停止してしまうため、焼却継続が困難と判断し焼却炉を立ち下げた。

大田(新)清掃工場 <休炉2、停止1>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
39	2号炉	休炉	R7.2.1	9:00	R7.2.1	11:01	R7.3.21	16:00	R7.3.24	9:46	給水流量とボイラ出口蒸気流量にかい離が生じ、調査のため2号炉を立ち下げた。このまま定期補修工事に入る。
クレーン 9	N.2ごみクレーン	停止	R6.9.29	8:40					R6.10.16	15:40	No.2ごみクレーンの手動運転中に、ごみを掴もうとしたところ爪が脱落しかかったため、クレーンを格納した。
19	1号炉	休炉	R6.8.27	1:44	R6.8.27	2:50	R6.8.27	14:00	R6.8.27	17:10	煙突入口排ガス4成分分析計の計器異常が発生し、リセットや電源切入を行ったが復旧しなかったため、焼却炉を立ち下げた。

東京二十三区清掃一部事務組合「清掃工場故障一覧」令和6年度(4月1日～3月31日)【工場別】

大田第一清掃工場 <休炉1、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
5	3号炉	休炉	R6.5.13	1:00	R6.5.13	6:12	R6.5.14	16:48	R6.5.15	14:01	灰搬出コンベヤ2で故障が発報した。現場確認したところ、コンベヤチェーンが破断していることを確認した。灰の搬出が出来なくなったため、運転中の3号炉を立ち下げた。

練馬清掃工場 <休炉4、停止1>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
42	1号炉	休炉	R7.3.4	1:08	R7.3.4	3:18	R7.3.7	17:25	R7.3.8	17:04	No.1ボイラ灰コンベヤ内に異物が噛み込み運転が不可能となった。解除を試みたが復旧することが出来なかったため、運転継続は困難と判断し1号焼却炉を立ち下げた。
40	2号炉	休炉	R7.2.7	10:00	R7.2.10	11:00	R7.2.12	17:18	R7.2.13	16:55	低温エコノマイザよりボイラドラムへ送水を行うボイラ給水配管の熱電対接続フランジより蒸気漏れが発生した。増し締めを行ったが蒸気漏れが止まらないため、運転継続は困難と判断し焼却炉を立ち下げた。
36	2号炉	休炉	R6.12.31	17:39	R7.1.1	20:30	R7.1.7	16:10	R7.1.8	15:52	水冷ストーカ循環水の水漏れを確認した。循環水の不足により水冷ストーカが焼損する可能性が出たため、運転継続は困難と判断し焼却炉を立ち下げた。
18	1号炉	休炉	R6.8.16	0:44	R6.8.16	2:15	R6.8.19	15:10	R6.8.20	14:02	1号飛灰コンベヤ故障が発報し、現場を確認したところ、正転逆転共にショックリレーが働き、動作不能になった。灰の搬出ができないため、運転継続が困難と判断し、焼却炉を立ち下げた。
クレーン 2	1号ごみクレーン	停止	R6.5.29	6:50					R6.6.17	13:00	1号ごみクレーンの5本ある爪の内、1本の爪のシリンダロッド側のピンが破断し脱落した。現在、1号ごみクレーンは格納位置に宙吊りの状態で停止している。脱落した爪は完全に脱落せず1号ごみクレーンに宙づりとなりしており動かない状態である。

杉並清掃工場 <休炉1、停止0>

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
16	1号炉	休炉	R6.7.14	17:00	R6.8.8	10:00	R6.8.9	19:51	R6.8.10	16:17	1号炉No.2ボイラ給水ポンプのメカニカルシールより水漏れが発生した。調査のため焼却炉を立ち下げた。

光が丘清掃工場 <休炉0、停止0>

目黒清掃工場　＜休炉3、停止0＞

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
43	1号炉	休炉	R7.3.3	7:37	R7.3.4	17:30	R7.3.17	13:19	R7.3.18	10:03	1号後燃焼段ストーカの動作渋滞が頻発した。現場調査をしたところ、後燃焼段ストーカ下シュートの閉塞を確認した。ごみの焼却継続が困難となったため、焼却炉を立ち下げた。
41	2号炉	休炉	R7.2.17	15:15	R7.2.20	15:00	R7.2.28	15:20	R7.3.1	12:21	2号給じんフィーダ下シュート部から発煙が発生した。また、それに並行して、2号ストーカ下コンベヤの開口部より水封水が大量に飛散した。設備の内部調査のため、焼却炉を立ち下げた。
25	1号炉	休炉	R6.10.8	17:07	R6.10.9	0:49	R6.10.21	15:14	R6.10.22	12:02	1号灰押出し装置ブッシャの動作異常により灰の搬送が困難となった。1号灰押出し装置調査補修のため、1号焼却炉を立ち下げた。

その他の処理施設

中防灰溶融施設

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
クレーン (1)	1号主灰クレーン	停止	R5.9.21	11:00					R7.2.13	16:00	巻上コンバータ・インバータ異常によりクレーンが停止した。調査の結果、巻上コンバータの絶縁不良が原因であった。（令和7年2月13日16:00復旧）

京浜島不燃ごみ処理センター

連番	炉	状況	発生日時		立下日時		立上日時		復旧日時		故障内容・備考等
その他の 処理施設	A・B系	停止	R7.3.12	14:30	R7.3.12	15:45					巡回点検中にA・B系破砕物コンベヤ(1)の電動機付近で異音を確認した。原因調査のため、A・B系の処理を停止した。調査の結果、当該機器の減速機軸受の摩耗が原因であった。

令和 6 年度　清掃工場　故障による休炉 48 件、クレーン停止 10 件、タービン停止 0 件
令和 5 年度　清掃工場　故障による休炉 45 件、クレーン停止 6 件、タービン停止 4件
令和 4 年度　清掃工場　故障による休炉 51 件、クレーン停止 6 件、タービン停止 1 件
令和 3 年度　清掃工場　故障による休炉 55 件、クレーン停止 4 件、タービン停止 2 件
令和 2 年度　清掃工場　故障による休炉 62件、停止 12件
令和元年度　清掃工場　故障による休炉 49件、停止 32件